

西宮中学校・宮前図書館の改築計画の見直しについて

西宮中学校（以下「中学校」という。）及び宮前図書館（以下「図書館」という。）は、令和4年1月に策定した杉並区実行計画（第1次）（令和4～6年度）及び杉並区区立施設再編整備計画（第2期）第1次実施プラン（令和4～6年度）（以下「実行計画等」という。）において、中学校地内での複合化を視野に、令和4年度から改築に向けた検討を進めることとした。

これを受けて、令和4年8月に学校、図書館、町会・自治会各関係者、学識経験者などからなる「杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会（以下「懇談会」という。）」を設置し、検討を行ってきたが、この間の検討状況等を踏まえ、現懇談会は一旦終了し、今後は、中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含めた施設再編を考える懇談会を設置すること等を視野に、検討を進めることとする。

1 これまでの経過

令和4年1月	実行計画等において改築を計画化
8月	懇談会設置、第1回開催 (以降、令和5年3月まで計6回開催)
10月～3月	改築基本計画策定等支援業務委託（以下「支援業務」という。）による配置・平面計画の策定

2 検討状況等

(1) 実行計画等で、中学校と図書館の「複合化を視野に検討する」とした主な理由は、以下のとおりである。

- 図書館との複合化により中学校の教育環境の向上が期待できること
- 図書館は移転改築となるため、長期休館を回避できること
- 移転後の図書館跡地を周辺の区立施設の再編整備に有効活用できること

(2) 懇談会での主な意見

- 中学校のグラウンド（約4,400㎡）は現在でも運動会や部活動を行う広さとしては十分ではなく、改築に当たっては、現在と同規模又はそれ以上を確保してほしい。
- 区立施設が今後集中的に改築時期を迎える中、施設の効率化や複合化の必要性は理解するが、現計画案だけでなく、周辺の区立施設の再編を含め、地域全体を見渡して検討すべきではないか。

(3) 支援業務により策定した計画の検討

支援業務において、配置・平面計画の検討を行ったところ、一定のスリム化を図ったうえで複合化した場合であっても、現在と同規模のグラウンドを確保するためには、学校・図書館ともに一部地下化（概ね1,000㎡）が必要となり、コスト増となることが判明した。

3 今後の進め方

この間の検討状況等を踏まえ、実行計画等において複合化を視野に検討することとした中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体の施設再編について改めて検討する。

現懇談会は、5月8日に開催した第7回懇談会をもって一旦終了した。今後は、中学校と図書館及び周辺の区立施設を含めた施設再編を検討する新たな懇談会を設置すること等を視野に、改めて庁内検討を行う。

4 今後のスケジュール（予定）

令和5年度 新たな懇談会の設置を検討

杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会 まとめ

令和5年5月 杉並区教育委員会

【1】杉並区実行計画・区立施設再編整備計画での計画化、懇談会の設置



区立西宮中学校は、昭和36年の開校以来の校舎が築62年となり、改築時期を迎えています。また、近隣にある区立宮前図書館は、昭和47年に開設し、築50年となり、同じく改築を検討すべき時期となっています。

このため、令和3年度に改定された『実行計画』及び『区立施設再編整備計画』で、両施設の改築が計画化されました。改築に併せて複合化することで、教育環境の向上が見込めることに加え、より一層地域に開かれた学校づくりや、効果的・効率的な施設整備等につながることから、宮前図書館を西宮中学校の敷地内に複合化することを視野に、令和4年度から検討に着手することとなりました。

この建て替えに向けて、目指す学校像や図書館像、複合化に当たっての考え方や、建物配置・平面計画等の検討について意見を伺うため、学校関係者や図書館関係者、町会・自治会関係者、学識経験者などからなる「杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会」を令和4年8月に立ち上げ、検討を行いました。

本編は、懇談会での検討経過や主な意見等についてまとめたものです。

【西宮中学校の改築】

○西宮中学校は、近隣の宮前図書館等との複合化を視野に、令和5年度（2023年度）以降、改築に向けた新校舎等の設計を進めていきます。

西宮中学校	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	財政効果額 (億円)	
		検討		設計		

【宮前図書館の移転改築（学校との複合化）】

○宮前図書館については、近隣の西宮中学校の改築に合わせて、中学校内への複合化を視野に、移転改築を検討します。

宮前図書館	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	財政効果額 (億円)	
		検討		設計		



▲西宮中学校（築62年）



▲宮前図書館（築50年）

【2】懇談会委員構成

	団体名等	氏名		団体名等	氏名
1	西宮中学校 PTA	坂井 初枝	16	久我山小学校 PTA	浅野 由美
2	西宮中学校 学校運営協議会	岩谷 俊行	17	久我山小学校 校長	小原 潤
3	西宮中学校 学校運営協議会	立入 聖堂	18	図書館関係者	スギヤマ カナヨ
4	西宮中学校 学校運営協議会	小寺 正芳	19	図書館関係者	滝田 恵子
5	西宮中学校 学校支援本部	大島 和美	20	図書館関係者	平田 洋子
6	西宮中学校 青少年委員	新留 敬子	21	西荻南一、二丁目南部町会	(1～5回) 馬橋 正雄 (6回～) 小山 圭子
7	西宮中学校 青少年委員	鳥井 敏子	22	久我山東自治会	片桐 誠實
8	西宮中学校 校長	宮崎 宏明	23	久我山南自治会	大熊 昌敏
9	西宮中学校 副校長	大金 泰光	24	久我山西自治会	鎌田 あつ子
10	松庵小学校 PTA	吉井 隆磨	25	松庵東町会	三浦 春江
11	松庵小学校 校長	戸口 満	26	松庵町会	(1～3回) 奥田 義郎 (4回～) 松島 育與
12	高井戸第二小学校 PTA	濱崎 紗季	27	宮前五丁目南地区防災会 (第6回～)	大熊 和夫
13	高井戸第二小学校 校長	柴田 紀子	28	宮前五丁目北地区防災会 (第6回～)	宇田川 勇
14	高井戸第四小学校 PTA	石井 智子	29	学識経験者	柳澤 要
15	高井戸第四小学校 校長	加納 直樹 (7回) 本橋 忠旗	30	学識経験者	中山 美由紀

【3】懇談会開催経過

開催回 開催日	主な議題
第1回 令和4年8月9日	○西宮中学校・宮前図書館の改築について ○西宮中学校の特色について
第2回 令和4年9月21日	○改築基本方針（たたき台） ○敷地条件等について ○配置計画スタディ① ○学校・図書館の複合化事例
第3回 令和4年11月4日	○施設見学（北区立浮間中学校・浮間図書館） ○施設見学（杉並区立高井戸中学校・高井戸図書館）
第4回 令和4年12月7日	○学校・図書館複合化により期待される教育効果等について ○施設再編整備・複合化の必要性について
第5回 令和5年1月19日	○中学校の改築規模 ○複合化パターン① ○配置計画スタディ②
第6回 令和5年3月23日	○中学校の改築規模 ○複合化パターン② ○配置計画スタディ③
第7回 令和5年5月8日	○今後の進め方 ○懇談会のまとめ（案）



●区実行計画を踏まえ、「中学校+図書館」の複合化を想定して、

- ・敷地条件の確認
- ・配置スタディ
- ・改築の考え方

等を議論

●併せて「中学校+図書館」の事例見学を実施



●施設の再編整備及び複合化の必要性について確認

●学校+図書館の複合化による教育効果等の検討



●宮前地域での施設再編の課題の共有

●他の複合化の可能性についても検討

- 学校+集会施設の複合化
- 学校単独改築、図書館+集会施設の複合化

【4】懇談会での主な検討事項と意見

① 「中学校＋図書館」の複合化について

<中学校と図書館の複合化の効果> (区資料)

<学校>

- 教育環境の向上
- ・図書館の豊富な資料を生徒・教師が利用できる
- ・生徒・教員への図書館職員によるレファレンスサービスの実施

<図書館>

- 長期休館を伴わない図書館の改築
- 読書離れが進む中学生への読書促進
- 中学生による図書館利用者への読書啓発
- 体育館や多目的室等、学校ならではの諸室の共用

<公共施設マネジメント>

- 施設の共用によるサービスの維持
- 宮前図書館の跡地活用
- ・地域の利用に資する施設の整備に活用
- ・周辺施設の老朽化対応のために活用
- 施設の改築にかかる費用の抑制
- ・長期休館中の蔵書等の移設・保管コストの抑制

<他事例の研究・施設見学>



▲北区立浮間中学校・浮間図書館



▲区立高井戸中学校・高井戸図書館

- 高井戸では、昼休み等に生徒が地域図書館を利用している。他の地域図書館に比べても生徒の利用比率が高い。
- 高井戸では、学校司書と地域図書館管理者が連携し、催しなどを行っている。
- 浮間では、中学校の学校図書の一部を地域図書館に配架して一般利用でも閲覧できる。
- 両事例とも、平常時は扉等で学校と図書館のセキュリティラインが確保されている。

<校舎配置スタディ>

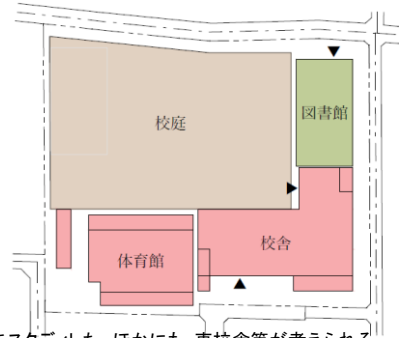
【北校舎案】

- 地上4階、地下1階
- 全面的に仮設の校舎・体育館が必要
- 校庭面積 約4,400㎡
- 工期約4年6か月



【南校舎案】

- 地上4階、地下1階
- 仮設校舎・体育館不要
- 校庭面積 約4,400㎡
- 工期約5年7か月



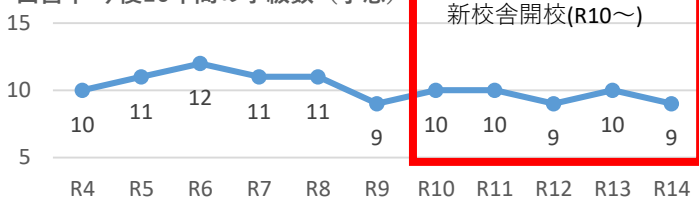
※代表的な配置2案をスタディした。ほかにも、東校舎等が考えられる。

<懇談会での主な意見>

- 中学校のグラウンドは、現在(約4,400㎡)でも運動会や部活動では狭さを感じており、改築に当たっては、150mトラックが余裕をもってとれ、現在と同規模又はそれ以上の校庭規模を確保してほしい。
- 学校と図書館の複合化が無理なくできれば理想的だが、高井戸中学校と比べても西宮中学校は約3,000㎡敷地が狭く、計画上の余裕がなく、将来の学校運営に不安がある。
- 学校と図書館の複合化にメリットがあることは理解するが、今後はDX化等で施設が離れていても連携できることも多く、また学校と図書館では共用可能なスペースが限られてしまうなど、複合化の効果は限定的な側面もある。
- 事例見学では、セキュリティ確保や、施設相互の音の影響などは、利用者の理解や設計及び運用の工夫であり問題になっていないことや、司書同士の連携で運営を工夫するなど複合化の効果を発揮していることが分かった。
- 杉並区では、学校司書を全校に配置して、教員への授業支援など学校図書館の運営機能の充実を図っており、さらに、西宮中では学校図書館を積極的に授業で活用している。仮に図書館と複合化する場合でも、独立した学校図書館の機能を確保してほしい。

② 中学校の改築規模・諸室

西宮中 今後10年間の学級数(予想)



<懇談会での主な意見>

- 学区内の児童数の推移や、子育て世代の転入状況、宅地開発の動向等を考慮するとともに、将来人口推計が上振れる可能性や、新校舎による増効果、35人・30人学級の可能性も想定して改築規模を設定してほしい。
- 今後は、学年単位で活動できるスペースや、各教科や特別支援など少人数の指導スペースが、より必要になる。

学級数予想及び『杉並区立学校施設整備計画』に基づく改築規模

用途分類		現状面積	改築面積
校舎	普通教室(10学級)	698㎡	720㎡
	特別教室・準備室	1,675㎡	1,706㎡
	管理・その他諸室	2,404㎡	3,220㎡
	特別支援教室	55㎡	72㎡
屋内運動場・付属諸室		799㎡	1,006㎡
その他	給食調理諸室	181㎡	286㎡
	学校開放諸室	26㎡	181㎡
	屋外倉庫等	56㎡	136㎡
総計		5,893㎡	7,327㎡

③宮前地域における施設再編の主な課題と複合化のあり方について



＜宮前地域の施設再編の主な課題＞

- 西宮中学校、宮前図書館に加え、大宮前保育園・併設のゆうゆう館（築58年）が改築時期を迎えている。
- 集会施設の整備が課題。
（※大宮前保育園を現在地で改築する場合、容積率制限から、現在併設されているゆうゆう館と併設での改築は困難）
- 保育園は原則、休園期間なしで、継続して運営を行う必要がある。
（※仮設園舎を整備する用地の確保が課題）

＜考えられる複合化パターン（概要）＞（区資料）

パターン① ＜中学校＋図書館の複合化＞	パターン② ＜中学校＋集会施設の複合化＞	パターン③ ＜中学校単独、図書館＋集会施設の複合化＞
<p>○中学校敷地で中学校と図書館を複合化 ○図書館跡地は保育園の仮設園舎で使用後、集会施設等を整備</p>	<p>○中学校敷地で中学校と集会施設を複合化 ○図書館は当面は長寿命化改修を検討し、将来的には現地で改築</p>	<p>○中学校は学校単独で改築 ○図書館敷地で図書館と集会施設を複合化</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○地域図書館との複合化による中学校の教育環境の向上等が期待できる ○移転改築となるため、長期休館なく図書館の改築が可能 ○図書館跡地を活用して大宮前保育園の改築が可能 ○現状と同程度の校庭面積を確保するには、一定の地下利用が必要となり、コスト（概算工事費）が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設との複合化により、学校と地域人材の交流・連携が期待できる ○現地改築となるため、図書館の改築時に長期休館期間（約3年間）が生じる ○地下利用なしで、現状と同程度の校庭面積が確保できる ○保育園の仮設用地の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館と集会施設という区民利用施設同士の複合化は、ロビーなど共用可能な部分が多い ○現地改築となるため、図書館の改築時に長期休館期間（約3年間）が生じる ○校庭面積は現状と同程度以上確保できる ○保育園の仮設用地の確保が課題

＜懇談会での主な意見＞

- 今後集中的に区立施設が改築時期を迎える中、施設の複合化・効率化の必要性は理解できる。
- 学校のことを考えれば、少しでも校庭が広がるパターン③が望ましい。
- これからの図書館は、人との対話や交流を通じて、出会いや活動の場として期待されるため、その点では区民利用施設同士の複合化となるパターン③が望ましい。
- 今の中学校は地域に支えられており、その点でパターン②は、地域人材との連携・交流がしやすい面がある。
- 集会施設でも、ゆうゆう館やコミュニティふらっと、あるいは学校施設を広く地域に開放する形など様々なバリエーションがあるように、上記3パターン以外の複合化の可能性も考えられる。
- 宮前図書館は、利用者が多く、多様な催し物など地域に根差した運営がされている。たとえ休館期間が生じたり、集会施設との複合化で図書館面積が制限されたりしても、現在地で運営が続けられるとよい。
- 保育園の改築の問題も利用者にとっては切実であり、その点ではパターン①がよいと考えられるが、図書館跡地を活用する以外に保育園改築の方策がないのか、さらなる検討が必要だ。
- 区が、懇談会での意見を踏まえ、計画原案以外のパターンも示した点は評価する。
- 周辺の区立施設を含めて宮前地域に視野を広げた検討が必要ではないか。

【5】今後の進め方等について

この間の検討状況等を踏まえ、区では、実行計画等で「複合化を視野に検討」することとした中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体の施設再編について改めて検討することとしました。このため、本懇談会は第7回をもって一旦終了したうえで、周辺区立施設を含めた施設再編を検討する新たな懇談会を設置すること等を視野に、改めて検討を行ってまいります。

今後の進め方（想定イメージ）

令和5年度	令和6年度	令和7年度～
区計画改定 (実行計画・区立施設再編整備計画等)	(仮称)宮前地域懇談会 区計画への反映 (複合化パターンの決定)	基本設計 実施設計 工事
	中学校改築検討懇談会	

＜懇談会での主な意見＞

- 改築時期は生徒や保護者にとって大きな問題であるため、スケジュールは区から速やかに周知してほしい。
- （仮称）宮前地域懇談会では、対象とするエリアの明確化や、校長以外を進行役とすること、議論がしっかりとまとまるよう工夫するなど、進め方を検討してほしい。
- 状況によっては、保育園の改築と中学校等の複合化は切り離して検討したほうが議論がまとまるのではないかと。